

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

中期経営計画

各事業セグメントで選択と集中を進め、売上高と利益の増加を実現する

② 中長期の経営戦略

- | | |
|--|---|
| 1. 食品事業：ブランディング強化
SNS活用による戦略商品の拡販。「わらび餅」「こし自慢」「桜餅」など定着ブランドの確立 | 2. 食品事業：人材確保・職場改善
外国人やスポーツ人材採用。有給取得率・残業時間改善で優秀人材を確保 |
| 3. スポーツ事業：ソフトテニス中心展開
「アカエム」のルーツを持つソフトテニスボール値下げで出荷増。業界活性化に積極関与 | 4. ゴム事業：集中と選択推進
競合撤退による売上増見込み。アジア事業強化と国内生産強化で中期成長支える |

③ 対処すべき課題

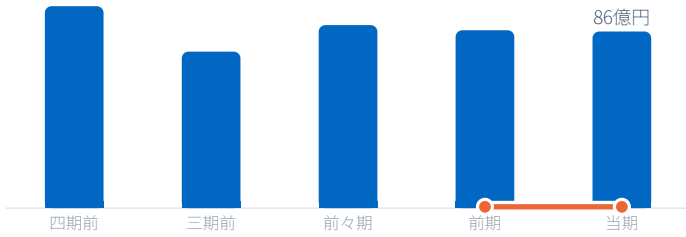
- | |
|--|
| ① 食品事業：原料価格高騰対応 <ul style="list-style-type: none">・数年継続の原料・資材価格高騰に対するコスト削減施策・商品企画見直しと生産効率改善で利益確保 |
| ② スポーツ事業：需要回復 <ul style="list-style-type: none">・物価高騰で中高生部活動がコロナ前の活気を取り戻せていない・テニスクラブ会員増加とツアー事業の収益性向上で対応 |
| ③ ゴム事業：海外市場環境悪化 <ul style="list-style-type: none">・アメリカ関税措置による円高傾向で先行き不透明・製造業の設備投資鈍化とコスト高・人手不足による投資延期懸念 |

面接で使えるポイント

- ・135年前にルーツを持つ「アカエム」ソフトテニスボール事業で業界活性化に貢献
- ・SNS活用したブランディング戦略で戦略商品の拡販実現、マスメディア継続掲載
- ・デジタルファイナンス事業でカンボジア・ラオス・ミャンマー・スリランカに展開

証券コード 5103

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
86億円営業利益率
▲2.6%財務健康度
19点 / 100点

将来性 雨 / 就活偏差値 28.5（当サイト算出の参考指標）

平均年収
1,400万円
ゴム製品内 1位/17社平均年齢
57.0歳
ゴム製品内 1位/17社平均勤続
9.0年
ゴム製品内 17位/17社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 昭和ホールディングス(株)【5103】：決算情報

